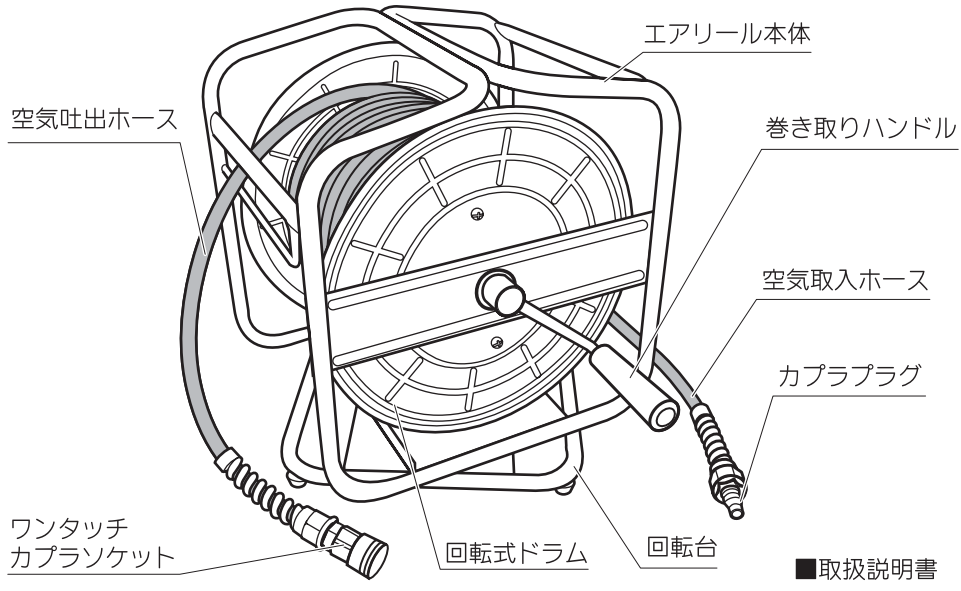


エアリール 回転台付

取扱説明書

本体各部の名称および付属品



もくじ

- 本体各部の名称および付属品 1
- 仕様 1
- 安全にご使用いただくために
 - △警告 2~3
 - △注意 3
- ご使用前の準備 4
 - ・折りたたみ式ハンドルの使用方法 4
- 使用方法 5~6
 - ・エアコンプレッサとの接続方法 5
 - ・エアツールとの接続方法 6
- エアパーツ接続例 7
- 保守と点検 8
- 修理の際は 8

仕様

ホース	
ホースサイズ(内径×外径)	空気吐出ホース長
φ6.5×φ10.7mm	約20m
最高使用圧力	1.0MPa (ホース1.47MPa ワンタッチカプラソケット:1.0MPa)
使用可能温度範囲	0℃~40℃
ホース材質	PVC (ナイロン糸入り)
※ワンタッチカプラソケット最高使用圧力以下でご使用ください。	
本体	
回転台回転範囲	360°
ハンドル	折りたたみ式
※最高使用圧力は連続使用可能な許容最高圧力 ※1kgf/cm ² =0.0980665MPa≒0.1MPa	

発売元 **株式会社パオック**

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

この度はPAOCKエアリール回転台付をお買い求めいただきありがとうございます。いつまでも安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、取扱上の注意事項、本機の特長、能力、使い方などを十分理解された上でご使用くださいますようお願い申し上げます。

用途

- ・エアコンプレッサと接続することで離れた場所でもエアツールにエアを供給することができます。
- ・回転台・回転式ドラム仕様で、作業効率が良く、便利です。

安全にご使用いただくために

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次に述べる注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。本取扱説明書の注意事項は「△警告」、「△注意」に区分されています。

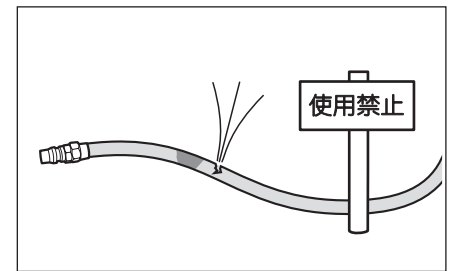
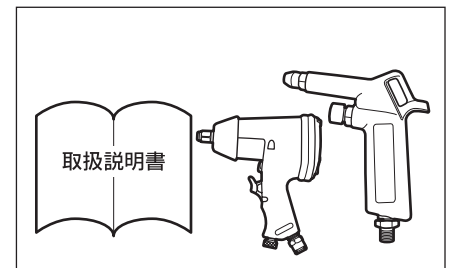
警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

ご使用前に次の注意事項をよくお読みになって正しくお使いください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1. エアツールを使用する際には、各エアツールの取扱説明書をよく読み、理解してから作業を行ってください。各エアツールによって取り扱いが異なります。取り扱いを誤ると、思わぬ事故やけがの原因となり危険です。
2. エアホースの切断・加工はしないでください。エアホースの切断・加工は危険ですので絶対にしないでください。
3. エアホースにひび割れ、変色、穴あき等の異常が見つかった場合は、使用しないでください。そのまま使用すると、故障や事故の原因になります。
4. 各部のボルトやねじにゆるみがないことを確認してください。故障や事故の原因になります。



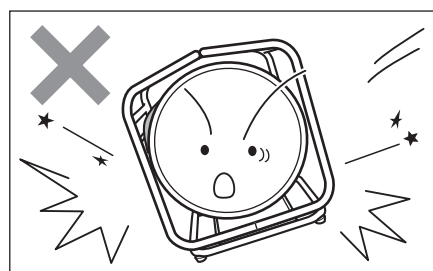
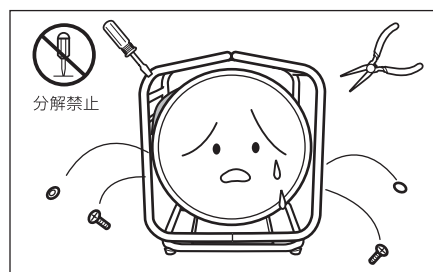
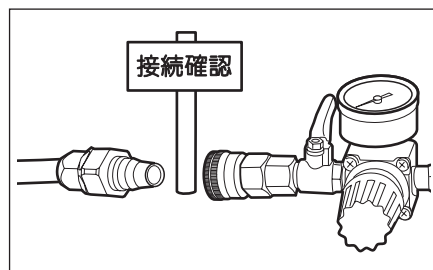
安全にご使用いただくために

3

ご使用前に次の注意事項をよくお読みになって正しくお使いください。

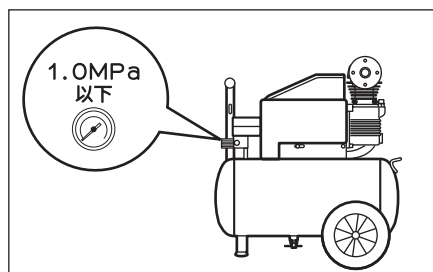
警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

5. 空気以外の流体は流さないでください。
6. エアコンプレッサやエアツール等の接続を確認してください。確実に接続していないと使用中にエアホースが抜けたり、けがや事故の原因になり、危険です。
7. エアホースに圧縮空気が入った状態で、接続を解除しないでください。残圧による反動で思わぬ事故やけがの原因になります。
8. 使用中、移動時にエアホースを強く引っ張らないでください。強く引っ張るとエアホースが抜けたり、破損することがあり、危険です。
9. ホースを重い物で踏みつぶさないよう注意してください。
10. 指定用途以外、及び能力を超えての使用はしないでください。
11. 本機を分解、改造しないでください。事故やけが、故障の原因となります。
12. 大切に取扱ってください。落としたり、投げたりの極端な衝撃を与えると、故障の原因となるだけでなく、思わぬ事故の原因となり、危険です。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1. 空気圧力は1.0MPa以下でご使用ください。1.0MPaを超えた圧力で使用すると、本機が破損する恐れがあります。※ワンタッチカプラソケット最高使用圧力以下でご使用ください。
2. 作業周辺の物や接続機器等の転倒防止のため、ホースは余裕をもった状態でご使用ください。
3. 使用後や、保管、点検の際は必ずエアコンプレッサやエアツール等の接続を解除してください。



ご使用前の準備

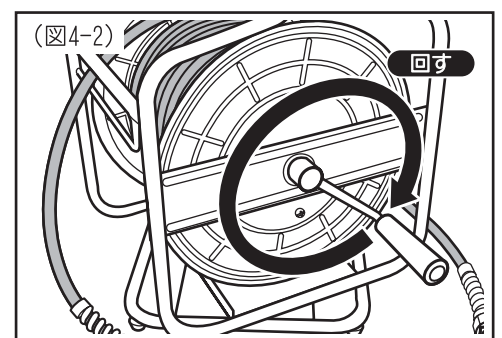
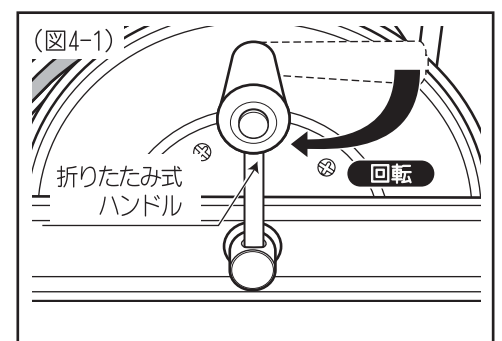
4

警告 ご使用前の準備の際は、必ずエアホース内の圧縮空気を抜き、エアコンプレッサ・エアツール等からエアホースを外し行ってください。

警告 本体のエアホースに傷やヒビ等の異常が見つかった場合は、使用しないでください。

折りたたみ式ハンドルの使用方法

1. 折りたたみ式ハンドルが外側を向くように回転させます。(図4-1)
2. エアホース収納時・長く出し過ぎた際には折りたたみ式ハンドルを回し、収納・調節をしてください。(図4-2)



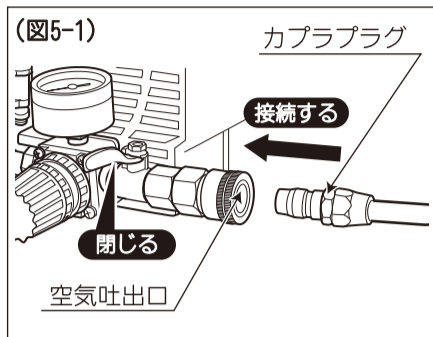
注意 収納・調節の際には、ワンタッチカプラソケットを引きずったりぶつけないようにしてください。損傷の原因になります。

エアコンプレッサとの接続方法

警告 本体のカプラプラグに傷やヒビ等の異常が見つかった場合は、使用しないでください。

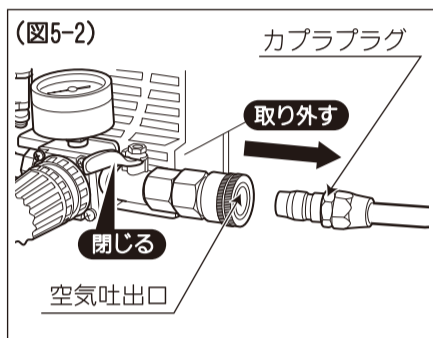
注意 カプラプラグとソケットは確実に接続してください。確実に接続していないと、接続部から外れ、事故や故障、けがの原因になり、危険です。

1. エアコンプレッサのエアコックが閉じているのを確かめ、エアコンプレッサの空気吐出口のソケットに空気取入ホースのカプラプラグを確実に接続します。(図5-1)



エアコンプレッサからの取り外し方法

1. エアコンプレッサのエアコックが閉じていることを確かめ、ホース内に残った空気を抜き、エアコンプレッサの空気吐出口のソケットから空気取入ホースのカプラプラグを取り外します。(図5-2)



エアパーツ接続例

エアドリル
電動ドリルと同様に、エアモータの回転力で穴を開けるための工具です。

エアグラインダ
エアモータの回転力を砥石に伝え、研磨・研削作業を簡単に早く行うための工具です。

ダスタ
圧縮空気の力を利用してちりやほこりを吹き飛ばします。エアのみ噴出する最もポピュラーなタイプです。

エアグリースガン
コンプレッサから送られる圧縮空気の力を利用して、自動的にグリースを注入する利便性の高い工具です。

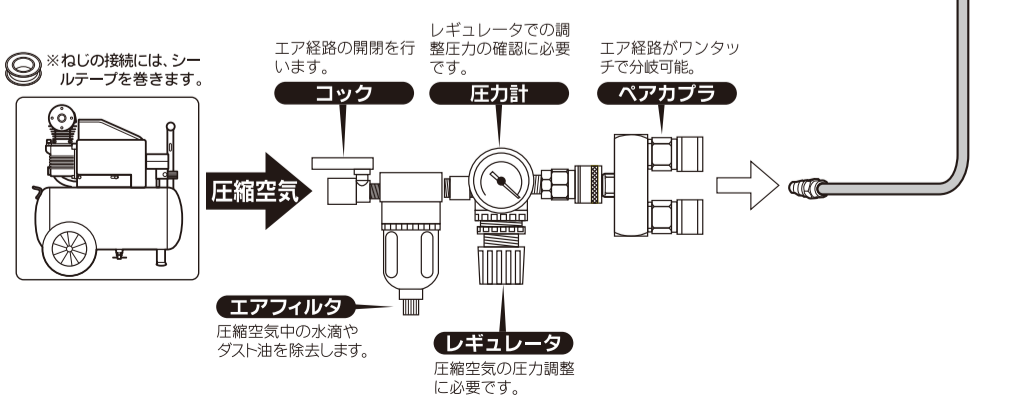
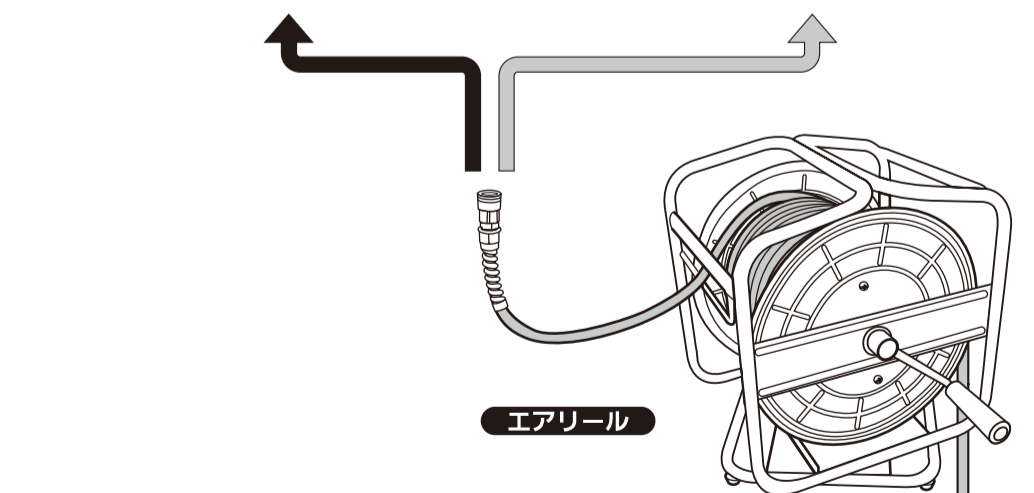
エアカッタ
エアモータの回転力を切断部のカッタに伝え、いろいろな金属板を高速で切断する工具です。
※必要に応じてオイルなどのオイル供給器をお使いください。

オイル給油必要

ミニエアダスタ
軽量で使い易く、ワンタッチで作業ができます。

エアグリースガン
コンプレッサから送られる圧縮空気の力を利用して、自動的にグリースを注入する利便性の高い工具です。

オイル給油不要

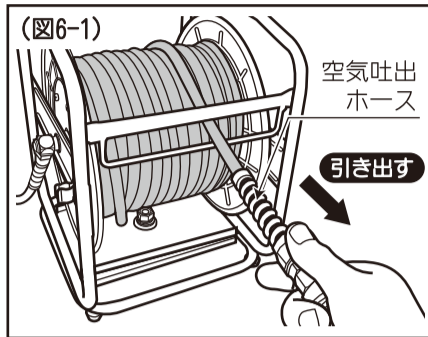


エアツールとの接続方法

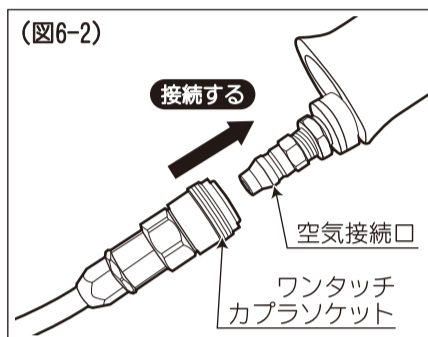
警告 ワンタッチカプラソケットに合ったカプラプラグが取り付けられているエアツールと接続してください。

警告 本体のワンタッチカプラソケットに傷やヒビ等の異常が見つかった場合は、使用しないでください。

1. 空気吐出ホースを任意の長さになるまで、引き出します。(図6-1)



2. エアツールの空気接続口に空気吐出ホースのワンタッチカプラソケットを確実に接続します。(図6-2)



注意 エアホースを強く引っ張らないでください。抜けたり、破損する恐れがあり、危険です。

注意 ワンタッチカプラソケットと空気接続口は確実に接続してください。確実に接続していないと、接続部から外れ、事故や故障、けがの原因になり、危険です。

保守と点検

警告 お手入れや点検の場合は、必ずエアコンプレッサやエアツール等の接続を解除してください。事故やけがの原因になります。

- 作業後のお手入れ
エアリールの性能を維持するために、清掃・点検を定期的に行ってください。清掃には有機溶剤を使用しないでください。
- 各部の点検
・各部取り付けねじは定期的に点検し、ゆるんでいたら締め直してください。そのまま使用すると危険です。
・エアホースにひび割れ、変色、穴あき等の異常が無いか、定期的に点検してください。異常が見つかった場合は、使用しないでください。
- 水抜き
使用後、エアホース内に水が溜まった時は水抜きを行ってください。
- 保管について
使用しない場合はきちんと保管してください。また、次の場所には保管しないでください。



修理の際は

- 正常に作動しない場合や、不明な点がございましたらお買い上げの販売店または、発売元までご連絡ください。
- お問い合わせや、ご連絡が無いまま直接発売元に修理品などを送付されても処理、対応できない場合がありますのでご了承ください。

発売元 **株式会社パオック**
〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
TEL: (0256) 33-5574 FAX: (0256) 33-5559
URL <http://www.paock.co.jp>